

## 第6回とりアートオペラ公演変則実行委員会中間報告 2017. 12. 20

今回の報告書は、先般行いました、鳥取オペラ協会の理事会と兼ねて話し合ったものです。従って非公式となります。そんな訳で、参考としてご報告させていただきます。

### □ 報告

○とりアートオペラ公演のプレイベントの一環として、県文連主催による「芸術たのしみ広場」を9/24に開催いたしました。

#### 『芸術たのしみひろば・オペラ《ヘンゼルとグレーテル》』事業報告書

実施 団体	団体名	主幹 鳥取オペラ協会・鳥取県ピアノ指導者協会		
	代表者名	計羽孝之	担当者名	計羽孝之
	電話	0858-23-6095	ファクシミリ	0858-23-6095
	Eメール	figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp		
実施時期	芸術たのしみひろば／平成 29 年 9 月 24 日(日) 14:00～15:40			
会場	所在地	〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5(倉吉パークスクエア内)		
	地	TEL 0858-23-5390(代表) FAX 0858-47-0255		
	名称	倉吉未来中心リハーサル室		
事業内容 (目的)	<p>「とりアートオペラ公演《ヘンゼルとグレーテル》」を、平成 30 年 12 月 24 日に公演することが決まっています。その公演をより多くの県民の皆様に鑑賞して頂くための啓発活動の一環と位置付けて開催しました。鳥取オペラ協会と鳥取県ピアノ指導者協会の協同企画であり、両団体の連携がスムーズに取れました。</p> <p>鳥取県におけるオペラ公演活動は、長年継続した公演を行っていますが、観客動員数はもとより、その演奏レベルの高さで高い評価を得て来ています。しかしながら、鳥取県におけるオペラ公演は未だに敷居が高いとの間違った認識が蔓延しています。そこで今回の企画では、エデュティメント(楽しみながら学ぶ)としての機能を十分に含み、子供たちにも提供できる芸術たのしみひろばとなりました。テーマである「ヘンゼルとグレーテル」の物語の背景から、人間の生き方、その在り様を示唆する具体的なお話を提供することで、楽しみながら学べるものになったと思います。オペラの演出は、何をどう変えていくのかをは、具体的に演じて頂きながらの解説は、感覚的に体験させて頂けるものであり、大きく示唆を与えられました。本公演のエキスを絞り込んだ解説に、参加されたどなたの心にも楽しくてワクワクする芸術たのしみ広場になったようです。出演者の歌唱と共に、その演出の妙を目の当たりにし、楽しみながら芸術に触れて頂けたようです。</p> <p>参照／アンケート報告(添付)</p>			
講師 氏名	中村敬一氏(文化庁派遣在外研修員としてウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を学ぶ。第 23 回ジローオペラ新人賞を受賞する。2000 年には、新国立劇場にてオペラ「沈黙」を演出し、高く評価された。各種受賞は多数。鳥取県へは鳥取オペラ協会設立前より交流があり、設立後は全てのオペラ公演の演出を行っている。特に、脚本・演出を手掛けたオペラ「ポラーノの広場」の成功は、かたりぐさとなっている。その後、			

	オペラ「ボラーノの広場」は再演を繰り返している。)	
参加人数	70人	
経費決算	会場費 倉吉未来中心リハーサル室・ピアノ・マイク含	17,230円
	チラシ・ポスター等印刷費	40,000円
	チラシ・案内はがき等 24,500円      ポスター・大型掲示物 15,500	
	交通・宿泊費(東京～倉吉往復)	35,640円
	看板費	0円
	講師謝金(ピアニスト 10,000円・講師 50,000円)	60,000円
	通信費	7,950円
	事務経費	0円
	旅費	68,130円
	ピアノ調律代	20,000円
	<b>合 計</b>	<b>235,350円</b>

### アンケート報告

入場者数	<b>52名</b>				
回収	<b>20名</b>	<b>回収率 38.46%</b>			
性別	男 5	25%			
	<b>女 15</b>	<b>75%</b>			
職業	会社員 20%	自営業 10%	学生 15%	<b>その他 25%</b>	
年齢	<b>18歳未満 25%</b>	20歳代 5%	30歳代 15%	40歳代 5%	50歳代 15%
	<b>60歳代 25%</b>	70歳代以上 10%			
住居	<b>倉吉市 45%</b>	三朝町 0%	北栄町 5%	琴浦町 10%	湯梨浜町 15%
	鳥取市 15%	米子市 0%	その他県内 10%	県外 0%	
認知	<b>友人 45%</b>	新聞・テレビ 10%	チラシ 30%	ポスター 10%	
	立て看板 0%	情報誌 15%	ダイレクトメール 0%		
満足	<b>大変満足 65%</b>	満足 10%	普通 0%	不満 0%	とても不満 0%
	無記入 25%				

### アンケートコメント

○とても充実して、楽しかったです。来年の12月楽しみです。新田先生のピアノ良かったです。

○作品の詳細など、たくさんの方が知れて、とても面白かったです。本公演楽しみです。

○大変面白かったです。来年12月を楽しみにしています。

○目の前で、このようなもの(実際の演出)を見ることが、とても貴重で面白かったです。

○声とか、動きとか、物語が楽しかったです。

○メルヘンな楽しい作品ばかりと思っていましたが、中村先生のお話で奥深さが良く分かり(大人の話しも)、来年の公演が楽しみです。

### 主催者の反省

大変中身の濃い講座となりました。グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」の原本にある残酷さから、家族で楽しむことの出来る物語に改変された話は、近年の事なかれ主義の延長線上にあり、身につまされるものでした。当初、ホームドラマからスタートした音楽劇が、本格的な壮大なオペラに進化した過程が解説され、目からウロコの感動がありました。ワグナーの弟子であったフンパーディンクのこの作品の中に、ワ

グナーの楽劇「リング」から影響を受けた指摘は、オペラを実施するメンバーにとっても大きな収穫となりました。

講座ではオペラの場面を再現しながら、演出によって演技が変容する様を目の当たりにし、オペラ表現の奥深さを知らしめており、この講座を受けた人は、本公演のオペラを10倍ならぬ大きなレディネスを授けていただいたものと思います。子供たちには物語の楽しみを、大人に取っては、音楽に隠された比喻を発見する楽しみを得られるものとなりました。

来場者は50人の想定で席を用意しましたが満席となり、有意義に「芸術」を楽しむ講座になったと思われました。

○鳥取オペラ協会の人事に伴い、とりアートオペラ公演実行委員会より「松本厚志氏」が抜けることになりました。

○経費の関係で2018年度のプレ公演サロンオペラ「ヘンゼルとグレーテル」は、「オペラ協会事業として県文連主催で公演します。その計画については、公演スケジュール案の概略が了解されました。

- ・2017.12.31までに、演出家の中村敬一氏より公演の構成案が提出される。
- ・2018.1.31までに、公演台本(中村敬一氏より)が提出されます。
- ・2018.3.上旬(近日中に決定)に、コレパティートルのレッスンを受けます。(本公演組も必須参加)
- ・2018.4.14~15 中村敬一氏による立ち稽古開始になります。
- ・2018.5.5~6 副指揮者による立ち稽古
- ・2018.6.2~3 副指揮者による立ち稽古
- ・2018.6.9~10 副指揮者による立ち稽古
- ・2018.6.16 HP
- ・2018.6.17 午前 ゲネプロ

とりアートオペラ「ヘンゼルとグレーテル」の練習スケジュールについても概略が示されましたが、スケジュール担当の西岡氏と小倉氏によって詳細を詰める予定です。

#### ○協議事項

(1) とりアートオペラ企画の抜本的な見直しについて、予算とのからみで大きく変更することになりました。

①練習会の回数削減の件については、東京組の練習会は3回以内に抑えることとなりました。又、県内組についても最低限に抑え、中村レッスンの練習日のみとし、その他の練習は、個人練習とする。

②オーケストラ経費の削減の件については、プロオーケストラの雇用は中止とし、奏者の一本釣り確保することになりました。

オーケストラの練習会は2018年8月に1泊2日と同年12月21,22,23,24日に3泊4日とする。

オーケストラのプロモートは、アザレアのまち音楽祭に委託する。

オーケストラ旅費・宿泊費を再精査することになりました

ソリストギャラ・交通費・オーケストラギャラ一覧づくり、了解されました。

オーケストラは47人編成から37人編成に縮小することが了解されました。(指揮者了解)

③サロンオペラの公演は、鳥取オペラ協会ととりアートの連携事業とすることになりました。そうすることで県文連の助成金を得て、サロン公演は成立させます。

④舞台制作の簡素化の件については、スタッフユニオンとの交渉が必要。今年の8月に、スタッフユニオンと詰めの話し合いを行い、びわ湖ホールより借用の形で引き取ります。

⑤スタッフの削減の件については、副指揮者は新倉氏一名とします。

⑥バレエの導入については、当初の計画を白紙とし、1幕の森のシーン4分、そして、妖精のおどり、森の動物たち、妖精のおどりのみとすることになりました。

⑦見直し予算書を提示し、黒字運営が可能な超削減予算を了解されましたが、是非必要なものとしてビデオ記録(1,500,000円程度)が提案されましたが、今後の予算実施の過程を見ながら、検討をすることになりました。その後、県外業者を使うことでかなり安価に制作できることが判明しました。

□)とりアート2021年度メイン事業(中部地区公演)についての試案が提案がありました。  
鳥取県中部地区の伝説をテーマに新作上演の企画について

**新作創作オペラ 打吹天女物語(仮題) 会場想定 倉吉未来中心大ホール**

日本各地に残っている天女伝説の中でも独特な世界観を持っている「打吹天女物語」を軸に、オリジナルストーリーを加え、子どもから大人まで楽しめるオペラを通じて、日本古来のしきたりや言い伝えの意義を説いていくオペラにしたい。伝説の中に込められた戒めや教えを、自然の中に存在する神々への恐れ、そして崇める天界、そして山里と共存した人々の暮らしを見つめることによって、そこから生まれる「民話のもつ独自の世界観」と日本の自然の美しさを感じ、普遍的な自然の、人間の摂理、強いきずな、夫婦・家族の愛を描く創作オペラとしたい。

○公演日時 2021年11月3日(祝) 14:00 会場 倉吉未来中心大ホール

○運営体制 鳥取オペラ協会を主管とし、県文連舞台分野所属の各団体とによる実行委員会組織をつくる。

○スケジュール原案は、(新作オペラの制作には、少なくとも5年間が必要だとの考えから委託実施年の二年前からの準備が必要)次の様に提案されました

準備年 2017年度 打吹天女原案作り⇒県内の文芸(須崎俊雄氏)・演劇人(尾上貴尉氏・大和屋かほる氏)よりアドバイスをもらう。

2018年度 打吹天女台本作り(未定)・作曲(未定)依頼

1年次 2019年度 作品の完成/楽譜の印刷

2年次 2020年度 ソリスト・オーディション/ピアニスト練習会/演出プランの確定  
小ホールにて一幕・二幕のプレビュー公演

3年次 2021年度 6月より練習開始

8月中旬 公開練習会(プレス発表)

11月 6日(土)オーケストラ練習会

11月 7日(日)オーケストラ合せ練習会

11月19日(水)搬入作業

11月20日(木)舞台設定作業

11月21日(金)照明設定/場当たり・立ち稽古

11月22日(土)ゲネプロ(小・中学生対象に公開)

11月23日(祭)14:00 公演

作曲依頼、脚本依頼、指揮者依頼、演出依頼等の主要スタッフの具体的な起用者名の提案がありました。

原案作成 2017年度→鳥取オペラ協会及び中部地区有志による提案書作成

台本作成 2018年度→とりアートメイン事業部会に提案⇒企画書提出・プレゼン参加。作曲依頼 2018年度後期作曲打診。

作曲依頼 2019年度→正式決定次第作曲依頼

制作開始 2020年度→試演会⇒キャスト・オーディション⇄ソリスト決定

公演実施 2021年度→練習開始→ガラ・コンサート⇒11月本公演

以上、報告いたします。

**とりアートオペラ公演実行委員会事務局**

〒682-0817 倉吉市住吉町 77-1 倉吉市文化活動センター内

TEL 0858-23-6095 携帯 090-1351-7574

e-mail:figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp